

こんにちは

会社訪問記

次代につながる事業の確立をめざして
活動の指針は自らの良心

有限会社サンテラス

(愛知県岡崎市)

徳川家康を輩出した、三河地区を代表する城下町・岡崎。ここで収集運搬と中間処理に携わる有限会社サンテラス。次代に継承されるべく、着実に事業を展開している林社長にお話をうかがいました。

――まず最初に、この業種に参入されたきっかけを教えてください。

林社長（以下林に略）『もともとは、土木・建築業を、そしてそれに付随する解体工事も請け負ってまして、現場から出る建築廃材を引き取ったことが始まりです。現在は、廃棄物を現場で仕分けして収集運搬し、中間処理施設で破碎処理をしています。しかし将来的には焼却炉を建設して、更に業務範囲を広げたいと思っています。より適正な処理を行うには、焼却が効果的というのが私の持論です。そのための許可も取りました。現状は、炉の設置について行政関係者にご指導をいただきながら、建設準備を進めている途中です。充実した施設を作りたい。しかし、完成にたどり着くまでには、配慮しなくてはならない問題がたくさんあります。それを、ひとつずつきちんと処理しなくてはなりませんからね。』

――現在事業を運営していて、どのようなことを心掛けてみえますか。

林『処分場を持っていますから、やはり周辺住民の方々への配慮ですね。気配り過剰ということはないと思っています。環境保全も廃棄物の適正処理も、社会的事業である、という点では同じこと。ですから、関連法規の勉強はもちろんしますし、常に自分の良心に問いかけながら、適正な認識をもって事業にあたっています。とにかく真面目に、決して無理をしないで、自分達にできる限りのことをきちんと果たす、それしかないですね。モラルを重視しながら



林社長

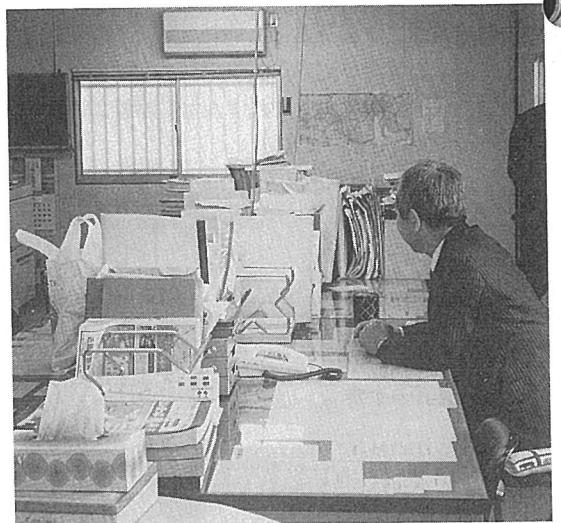


社名/有限会社サンテラス 所在地/岡崎市上地五丁目1-30
代表者/林 勝利 創業/昭和62年 従業員/40名
TEL/0564(53)4001 事業所/本社、処理場
営業種目/収集運搬、中間処理、埋立て処分 取扱品目/廃プラスチック、木くず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、建設廃材

ら正しい方向性を持ち、周辺の理解を得ること。適正処理を守ることが重要です。私としては、この事業は次の世代にも受け継いで欲しいものだと思いますから、慎重に着実にやっています。無理をしたり、浮ついた意識のままでは、何事もなし得ませんからね。』
――手堅く、ということですね。最後に従業員数を教えてくださいいただけますか。

林『現在、収集運搬・処理・建築・土木・事務すべてあわせて、総勢40名程です。事業範囲は広いのですが、少数精鋭主義で頑張っています。みんなよくやってくれて、本当に嬉しい限りです。最近では、廃材の木を使い椎茸の菌床栽培を始めました。これもリサイクルになるかなど。またやることが増えてしまって。文句も言わずにきっちりやってくれる、社員には恵まれていますね。それだけに、私自身もより一層頑張らなくてはと思います。』

ご本人のお話通り、真面目一本の態度がとても清々しく感じられました。ぜひ、次の世代にも継承されるように、一步一步業績を伸ばしてください。



社内